福祉

いみず

No.52
2018.11

災害ボランティアセンター本部立ち上げ訓練の様子
9月2日 作道地区での射水市総合防災訓練

お問合せはこちらまで【ご意見・ご感想などございましたら、ぜひお寄せください。】

社会福祉法人 射水市社会福祉協議会

〒939-0274　射水市小島700番地1
◆総務課 ☎52-5010

E-mail：honsho@imizushakyo.jp
ホームページ：http://www.imizushakyo.jp/

この広報誌は、一部共同募金の助成を受けています。

モバイル版はこちら！

バーコードリーダーで読み取りアクセス！

つながりあって広げよう 子育ての輪

射水市ファミリーサポートセンター

同センターは、地域で子育てを支援する相互援助活動の会員組織で、協力会員145人、依頼会員400人、両方会員21人が登録しています（H30.3月末現在）。保育園や小学校などの開始前・終了後の預かりや送迎、保護者の病気、産前・産後、リフレッシュの際の預かりなど、子育てで困っている方を地域の協力・両方会員がサポートします。また、センターは依頼会員からの依頼に応じ、子育てに協力できる協力会員との連絡調整を行い、安心して活動できるようサポートを行います。

この他にも、さまざまな援助ができますので、ご相談ください。

利用料金（報酬）は？

●平日（月～金）　7時から19時　1時間当たり　700円
●平日（月～金）　右記以外の時間　1時間当たり　900円
●早朝、夜間、土日・祝祭日　1時間当たり　900円

会員募集！

子育てを応援したい方（協力会員）
◎市内在住で子どもが好きな方
◎心身ともに健康で社会参加をしてみたいと思っている方

子育てを応援してほしい方（依頼会員）
◎市内在住か市内に勤務・通学の方

※協力会員と依頼会員を兼ねることもできます（両方会員）。

登録料 無料

ファミリーサポートセンターが地域や時間帯などを照合して、お互いの条件が合う方を紹介します。
まずは、射水市ファミリーサポートセンターに会員登録をしてください。

《実際の活動》

依頼会員　Sさんの声

県外から転勤にて、射水市に移住してきたため、近くに頼れる親戚等もなく、保育園の先生から自分が病気にかかった時などに困るのではとファミサポの紹介を受けました。

幸い、そのようなことはありませんが、休日に用事がある時やリフレッシュしたい時に子どもを預かって頂けてとても助かっています。

子どももとても懐いているので、いつも同じ協力会員にお願いしておりますが、快く了承して頂き、富山の親戚が出来たようで、大変有り難く、心強いです。

協力会員宅での預かり

協力会員Kさん宅での活動の様子

協力会員　Kさんの声

活動を始めて1年半経過しますが、早いうちから、すぐに慣れてくれました。お子さんを安心して預けてもらえるよう、私の孫と一緒に明るく楽しく触れ合っています。

私自身も小さい子を預かることで、パワーをもらえます。

月2回程度の預かりですが、ご家庭のお役に立てれば嬉しいです。今後も元気な限り、この活動を続けていきたいと思います。

学童保育や習い事への送迎

学童保育へのお迎えの様子

依頼会員　Nさんの声

小学生の娘は3歳からファミサポを利用し、今は、学校から習い事や祖母宅までの送迎をして頂いています。

協力会員の皆さんが優しく話しかけて下さるので、娘は皆さんを家族のように思っており、こうした温かい関わりに感謝しています。これからも引き続きよろしくお願いします。

協力会員　Tさんの声

小学3年生のAちゃんとは、幼稚園から6年間の付き合いになります。

学童保育へ週2回迎えに行き、スイミングスクール、積み木教室へ送迎しています。きちんと挨拶し、習い事の様子などを楽しく話してくれ、私にとって孫のひとりと思って元気をもらっています。

相　談　**射水市ファミリーサポートセンター**　●大島社会福祉センター2階　射水市小島700番地1

問合せ先　電話●52−7081　FAX●52−5852　Mail●ifss@imizushakyo.jp

開所時間●月〜金　8:30〜17:00（土・日・祝祭日は休み）

地域の福祉力（ちからら）

地区社会福祉協議会活動紹介

本江 地区社会福祉協議会

◆地区社会福祉協議会とは？

略して「地区社協」とよばれ、市内には27の地区社協が組織されています。地域の「困ったなぁ」をご近所パワーや地域の力でできることはないかを考え助け合いをしています。

▲ 陶芸教室＆バスハイク　毎年好評です。

▲ 本江ふるさとまつり（陶芸作品の展示）

地区社協からひとこと

地域振興会や各種団体と連携協力し、住民一人ひとりが生きがいを持ち、お互いに支え合える地域づくりに努めます。

【会　長】　石葉　喜八郎

【設立年月日】昭和32年８月４日

【人　口】　1,937人（平成30年１月３日現在）

・世 帯 数　685世帯

・高齢者数（65歳以上）482人

高齢化率24.9％

・児 童 数（小学１～６年生）130人

地区社協活動紹介

本江地区社協の役割は、誰もが住み慣れた地域で安心・安全に暮らすことができる地域づくりをすることです。そのため、地域振興会や地区で活動する各種団体と連携・協力し、ケアネット活動やいのちのバトン普及事業などを通じて、地域共生社会の実現を目指しています。

年間行事としては、ケアネット研修会や陶芸教室＆バスハイク、ふるさとまつりなどの交流事業を行っています。

地区の公民館まつりの『ふるさとまつり』で展示する陶芸作品は、匠の里に出向き陶芸体験し作成したものです。参加者には「作る」・「観る・観てもらう」・「使う」という３つの楽しみと喜びが体験できると好評です。

ひとり暮らし高齢者宅への訪問活動も積極的に実施しています。春は手作りの桜もち、秋はおはぎ、クリスマスには児童クラブと連携し、それぞれ季節ごとに工夫を凝らしたプレゼントを用意することで大変喜ばれています。

これからも、子どもから大人までが共に支え合う本江地区を目指していきます。

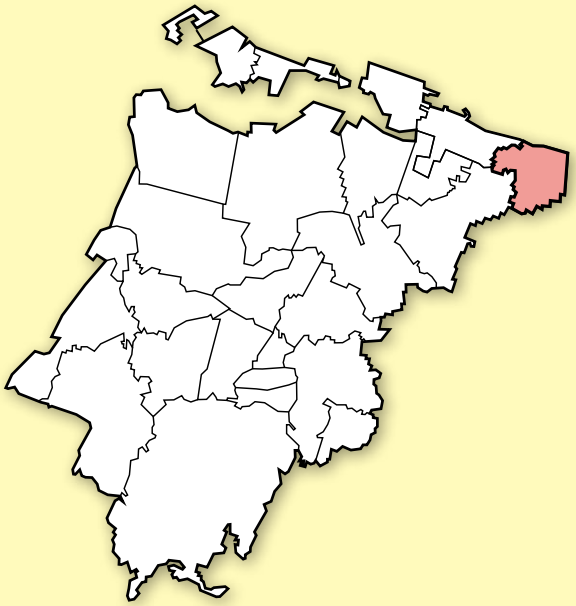
石葉　喜八郎

地区の特徴・歴史

射水市東部に位置する農村地帯であり、地域が一体となって郷づくりを進めています。

足洗老人福祉センターと足洗潟公園や、昨年、国の登録有形文化財に登録された旧田中家住宅があり、地域の憩いの場になっています。

平成 32 年には、コミュニティセンターが新しくなり、広くなる予定なので、地域住民の交流がますます深まることが期待されます。



Hello!

ぼらんてぃあ

ボランティアグループ活動紹介

香香（シャンシャン）ミュージック

Shan Shan Music

ふれあいサロンなどで楽器の演奏や歌あそび、軽体操などを織りまぜて、参加型の音楽活動を行っています。

参加者の方に笑顔と健康を届ける活動を心がけています。

▲地域ふれあいサロンでの活動

◆活動を始めたきっかけ

平成29年度に音楽レクリエーションボランティア養成講座を受講した14名で立ち上げました。

◆活動していてやりがいを感じるとき

季節の歌、民謡、懐かしい曲で一緒に歌い、動き、笑うことで“みなさんと共に”を感じることが次のパワーになります。

◆最後にひとこと

何が出てきますやら『音のおもちゃ箱』

とにかく“みなさんいっしょに！”一度、楽しみませんか？トーンチャイムの音が心に響きます。

※トーンチャイム
ハンドベルの一種で余韻のある豊かな響きがあるのが特徴

射水市災害救援ボランティアセンター立上げ訓練を実施

９月２日（日）作道小学校にて、地区社会福祉協議会や民生委員、ボランティアの方をはじめ市外社協職員やボランティアリーダーの方など、多くの皆さんにご協力いただき実施しました。

災害救援ボランティアセンター（通称：災害ボラセン）は、被災者の困りごとを受けとめ、その課題（活動先）と市内外から支援活動に駆けつけるボランティア（活動者）をつなぐ役割を担っています。

今回の訓練では、災害ボラセンスタッフとボランティア、地域住民役に分かれ、被災者の困りごと内容の聞き取りと支援に駆け付けたボランティアの活動内容調整を中心に訓練しました。今後は、この訓練をふまえ、災害ボラセン運営マニュアルや支援体制の見直しを行う予定です。

訓練参加者の意見

- センターの業務内容が理解できた。
- 今、災害が起きても、何もできない自分に気付いた。
- 日頃から災害に備えて訓練しておくことが必要であると感じた。

赤い羽根共同募金運動が始まりました！

10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まり、初日には、新湊曳山まつりで街頭募金を実施しました。また10月14日開催の新湊カニかに海鮮白えびまつりではイベント募金を実施しました。たくさんの方々にご協力いただき、どうもありがとうございました。

11月10日開催の農業産業まつりにてイベント募金を実施します。

平成30年度 赤い羽根共同募金目標額
11,706,000円

さまざまな募金活動を行っています

- 戸別募金（世帯を対象に）
- 街頭募金（通行人を対象に）
- 法人募金（企業を対象に）
- イベント募金（イベント参加者を対象に）
- 職域募金（従業員を対象に）
- 学校募金（児童・生徒を対象に）
- 個人募金（個人から）

転ばぬ先のアドバイス プラス

～ケアマネからのお役立ち情報～

じんわり汗 秋～冬のかくれ脱水に要注意!!

人は皮膚からも呼吸しているので普段の生活をしているだけでも体内の水分は、思っている以上に失われています。これからの季節はコタツや電気毛布など暖房器具の使用でますます体内の水分が失われていきます。夏と違い汗をかきにくく、喉の渇きに気がつきにくい分、知らず知らずのうちに体の中は水分不足になり血液はドロドロ状態に。特に、高齢者は持病や服薬の影響、筋肉量の減少などで体内の水分量が減り気味なので脱水症になりやすく注意が必要です。

そんな時、お勧めの水分補給は水か麦茶。一気に飲むとトイレが近くなったり、むくみの原因になるのでこまめに補給しましょう。緑茶やコーヒー、アルコール類は利尿作用があり、逆に体の水分が奪われるので気分転換の嗜好品と思って飲む方がよいでしょう。

POINT ～かくれ脱水予防ポイント～

喉が渇いていなくても、意識して定期的に水分補給をする（1日1.5ℓ目安）

水分補給（飲む）タイミング	喉が渇く前、入浴前後、運動時、起床時など
部屋の乾燥対策	濡れタオルを干して、一定の湿度を保つ
水分の多い食事やおやつをとる	スープ、アイスキャンディー、ゼリー

CHECK かくれ脱水チェック

対象：65歳以上の方　監修：神奈川県立保健福祉大学
ステップ1（脱水症へ移行する前段階チェックより抜粋）

- ☐ 皮膚がかさつくようになった。皮膚につやがなく乾燥している。ぼろぼろと皮膚が落ちる。
- ☐ くちの中が粘つくようになった。食べ物がパサつく。唾が少なくて、唾をゴクンと飲めないことがある。
- ☐ 便秘になった。あるいは以前よりひどくなった。下剤（便秘薬）を使う頻度が増えた。
- ☐ 以前よりも皮膚の張りがなくなった。手の甲をつまみ上げて離した後につまんだ跡が3秒以上残る。
- ☐ 足のスネに「むくみ」が出るようになった。靴下のゴム跡が、脱いだ後に10分以上も残る。

★このシートはあくまでも目安です。確定診断には医療機関での評価が必要です。

問合せ先　射水市大島在宅介護支援センター　☎51－6010　FAX 51－6011

第13回 射水市社会福祉大会

平成30年10月3日、アイザック小杉文化ホール ラポールにて「第13回射水市社会福祉大会」を開催しました。市内の福祉関係者および一般来場者含め約600名を超える参加のもと、盛大な式典となりました。

大会では射水市の社会福祉に貢献された37名6団体の方々へ、市社会福祉協議会長より表彰状の授与ならびに感謝状の贈呈が行われました。その後、決意を新たに「互いに助け合い支え合うまち 射水」の実現に向けて、一層努力することを宣言し、「福祉人材の育成および幅広い年齢層へのボランティア・NPO等活動への支援強化」、「包括的な共生社会の実現」など8項目を掲げ、参加者一同で決議を行いました。

記念講演では、志縁塾代表取締役 人材活性プロデューサー 大谷由里子氏から「大谷流『ココロの元気』のつくり方～感じて、興味を持って、自ら動いてみよう～」と題して、ご講演いただき、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けるには「相手を認め、引き出して、応援する」というコミュニケーションが最も重要だと改めて認識させていただきました。

▲ 記念講演の様子

○社会福祉事業 関係者及び団体

射水市社会福祉協議会会長表彰

長きに渡り社会福祉活動に多大な貢献をされた方々に贈られました。

（個人）
竹内 繁夫　四柳 節子
森本 啓子　石葉喜八郎
川口 陽子　宮村 健壯
海内 幸雄　本郷 孝秀
網 節子　長田 惠子
滑川 節子　清水 久義
田保 茂子　公文名律子
桶 和枝　道古 正子
油谷 幸雄　富岡 民生
野崎よしみ　堺 美恵子
野村 紀子　上谷 愛子
清水 敏子　窪田 厚子
舟守田鶴子

○社会福祉事業 協助者及び団体

ボランティア活動に多大な貢献をされた方々に贈られました。

（個人）
安元 幸子　坂井 宣子
中屋ちよ子　宮腰 俊一
法土賀津子　小西満里子
高田 京子　高橋夕起子
肥田 智子

（団体）
読み聞かせボランティア「ピッピの会」
太閤山ボランティアグループ
読み聞かせポニーの会

○社会福祉事業 協力援助者

射水市社会福祉協議会会長感謝状

地域福祉推進の中核となるべく、本協議会の発展に大きく寄与された方に贈られました。

（個人）
宮城 澄男

○寄付者および団体

本会に10万円以上のご寄付（物品）を賜りました方々に贈られました。

（個人）
湯淺 扶子
（故・米田みさをご遺族）
亀谷 美智子

（団体）
富山桜吟会
射水市立新湊中学校生徒会
富山県立新湊高等学校生徒会

※敬称略

写真レポート

地区社会福祉協議会巡回

▲（7月19日：本江地区社協訪問の様子）

昨年度と今年度の２ヶ年にわたり、市内27の地区社会福祉協議会巡回訪問を実施し、それぞれの地区社協の取り組みや、地域の現状と課題を地区社協の役員のみなさんと意見交換し情報を共有しました。

市社協では、この巡回訪問で把握できた各地区社協の現状と課題を整理し、皆さんと共によりよい地域づくりに取り組んでいきます。

世帯会費の納入にご協力いただきありがとうございました。

市民の皆さまのご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

皆さまから頂いた会費は、高齢者や障がいのある方はもちろんのこと、射水市に住む全ての子どもから大人まで、誰もが安心して暮らせる地域づくりの貴重な財源として、大切に活用させていただきます。

今後とも、皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますようお願い致します。

ひとりで悩まず一度ご相談ください。

相談無料　秘密厳守

自立支援相談

◆仕事や生活に困っている方の相談

相 談 日　月～金曜日
（年末年始、祝日を除く）
相談時間　9:00～17:00
相談場所　大島社会福祉センター

問合せ先　射水市生活自立サポートセンター（地域福祉課内）☎52－7080

心配ごと相談

◆日常生活の心配ごと、悩みごとの相談

開設時間　13:30～16:00
相談員　民生委員・児童委員

開設場所	開設日				問合せ先
	11月	12月	H31 1月	2月	
新湊交流会館	1日 15日	6日 20日	17日	7日 21日	新湊支所 ☎82-8450
大島社会福祉センター	6日 20日	4日 18日	15日	5日 19日	地域福祉課 ☎52-5190

掲示案内　射水市ボランティア推進校活動紹介壁新聞

市内にある小学校･中学校･高校（ボランティア推進校）が作成した、ボランティア活動や福祉教育に関する壁新聞を掲示します。

日ごろ、学校や子どもたちが取り組んでいる活動を、ぜひご覧ください。皆さんのご来場をお待ちしています。

【会場・期間】

★射水市役所本庁舎 １階エントランス
11月19日（月）～11月30日（金）

昨年度の様子▶

プレゼントクイズ

○の中に言葉を入れてください。
クイズに答えて正解者の中から抽選でプレゼント！

今回のプレゼント　5名様にプレゼント
図書カード 1,000円分！

クイズ　地域で子育てを支援する相互援助活動の会員組織は何でしょうか？

「○○○○○サポートセンター」（ヒントは特集p2「つながりあって広げよう子育ての輪」にあります）

ハガキ、又はFAXに**クイズの答え、郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢、性別、本誌の感想（良かったコーナー、改善点など）、その他ご意見など**を記載し下記宛先まで。

あて先　〒939-0274　射水市小島700番地1
(福)射水市社会福祉協議会
「福祉いみず　プレゼントクイズ係」
FAX　0766-52-6190

応募締切　平成30年12月２日(日)必着
※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

～会館利用のご案内～ 射水市新湊交流会館

会議室、研修室やホールなどを備えており、地域交流スペースとして行事、研修会・懇親会などに利用できます。
料金等詳しい内容についてはお問い合わせください。

所在地	射水市三日曽根9番18号
利用時間	午前9時から午後10時まで
休館日	毎週月曜日、祝日（祝日が月曜日の場合はその翌日）、12月29日～1月3日
問合せ先	射水市社会福祉協議会新湊支所 ☎：0766-82-8450　FAX：0766-82-8452

編集後記

『○○の秋』と言われて皆さんは何の秋を思い浮かべますか。スポーツ、芸術、読書。色々あることでしょう。わが家では、スポーツで汗を流した後、芸術に親しんだ後、読書をしながら秋の味覚を楽しむ『食欲の秋』がもれなくセットでついてきます。自然の恵みを育てて下さった方に感謝しつつ、旬の味を楽しむのは最高の時間です。しかし、おいしいからといって食べ過ぎには注意しないと。人間は冬眠しないので、必要以上の蓄えは必要ありませんからね。

次号▶No.53　H31.2月発行